

【アスリート特集第1弾】

東京2020パラリンピック アーチェリー日本代表(内定)

上山友裕 選手



プロフィール

上山友裕(うえやま ともひろ)。

1987年8月28日。東大阪市生まれ。同志社大学卒。三菱電機所属。

同志社大学でアーチェリー部に入部し、競技人生をスタートさせる。2010年冬ごろ、原因不明の両下肢機能障害を発症。その後もアーチェリーを続け、発症から約1年後に開催されたパラアーチェリーの国内大会に初出場で2位入賞。2016年にはリオパラリンピックに出場し、リカーブ個人部門で7位入賞を収めた。2018年10月20日、東大阪市スポーツみらいアンバサダーに就任。2019年には、ドバイで開催されたワールドランキングトーナメントで金メダルを獲得するなど、数々の国際大会で好成績を残して、2019年10月時点では世界ランキング2位につける。東大阪、そして日本が世界に誇るトップアスリートであり、東京2020パラリンピックへの出場が内定している。目標はもちろん「金メダル」。

— 70m先にある的を目掛けて矢を放つ。「ピシューーッ」という風を切る音がしたと思えば、目では捉えられない速さで、気がつけば矢が的に刺さっている。 —

数々の世界大会で結果を残してきた上山選手の実力は、的を見ればすぐに分かる。風が強く吹いている屋外練習場にも拘わらず、見事に的に穴だらけなのだ。トップアーチャーは周りの木々や草の揺らぎを見て、風を読みとることがあるそうだ。70m先に置かれた、全長わずか122cmしかない的に黄色く塗られた中心付近に、矢がズバズバと突き刺さっていくのは、見ていて気持ちが良い。会場で試合観戦する場合は双眼鏡が必須アイテムになるだろう。



(参考)70mはラグビーコートから端から端くらい。



122cm

アーチェリーに使用する的に中心に近づくにつれ点数が高い。

精神力が重要なスポーツ

東大阪市スポーツみらいアンバサダーにご就任いただいた2018年から、上山選手は東大阪市ウィルチェアスポーツ広場で普段の練習を行っている。それまでは、車で1時間以上かけて練習場に通っていたそうだが、「東大阪市内に練習できる場所が出来てありがたい。」と笑顔で話してくれた。ブルーシートを被せた畳を立てかけて、周囲を防矢ネットで囲んでいるだけの簡素なもので、トップアスリートの練習施設としては決して充実しているとは言えないが、文句も言わずにずっと市の施設を利用してくれている。アーチェリーというスポーツは、強い精神力が必要だと聞かすが、上山選手には、練習環境はもはや関係ないのかもしれない。事実、パラアーチェリーの国内大会では、デビューから出場した全試合において3位以内に入賞している唯一の選手なのである。



練習設備(東大阪市ウィルチェアスポーツ広場)



雨の日は自宅駐車場で練習を行う。

メダルに近い男

2019年6月、東京2020大会への出場が内定したときには、東大阪市長を表敬訪問され、「金メダルを東大阪に持って帰ります」と宣言。もちろん、東大阪市から日本代表が選出されたというニュースに地元は大いに盛り上がった。東京で行われた東京2020 大会日本代表選手団の公式服装の発表会にも登壇し、多くのメディアに取り上げられた。名実ともに東大阪そして日本が誇るトップアスリートである。

2019年10月時点で、世界ランキング2位につけている上山さん。来年開催となった東京2020大会でも、表彰台のど真ん中を射程圏内に収めている。



市庁舎に掲げられた懸垂幕とのショット



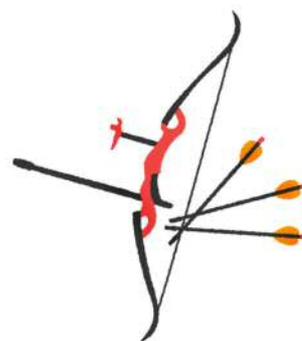
表敬訪問時の記念写真

(左から野田東大阪市長、上山選手、市マスコットキャラクター トライくん)

パラアーチェリーとは？

パラアーチェリーは離れた的を狙って矢を放ち、その得点を競う合う競技。障害の種類や程度によって3つのクラスがあり、車いすや椅子を使用もしくは立位で行われる。また、弓の種類(リカーブ・コンパウンド)などによって競技種目が分けられている。

上山さんは W2クラス個人リカーブで東京2020パラリンピックへの出場が内定している。



色々なテーマの質問に答えていただきました！

～ 人物像について ～

Q 子どもの頃、どんなスポーツをしていましたか？

A この街に産まれた運命です。ラグビー

Q 子供の時の将来の夢を教えてください。

A 小学校の卒業文集には野球選手と書いていましたが中学でラグビー部に入りました。

Q 自分の長所を自己分析すると何ですか？

A バケモノクラスのプラス思考

Q 趣味は何ですか？

A 特にないのですが、最近 YouTube 等いろいろ始めようと思っています。

Q 好きな食べ物は何ですか？

A 焼肉、たこ焼き、ラーメン

～ アスリートとして ～

Q 今までの競技人生において、一番心に残っている試合やシーンを教えてください。

A 日本選手団が少ないイタリア遠征で、大人数で来ていたトルコとの3位決定戦。応援の人数で圧倒的に負けていたのですが、イギリスやイタリアなどの選手の友人が日本を応援してくれたので応援も試合も勝つことができました。スポーツに国は関係ないなと思いました。

Q 上山さんが頑張る原動力や、モチベーションを保ち続けるために大事なことは？

A 応援してくれる人たちにしっかり喜んでもらえるように意識しながら練習することと、夢と目標をぶらさずに持ち続ける事です。

Q 遠征先でコンディションを整えることや、環境にフィットさせることは大変かと思いますが、工夫やルーティンがあれば教えてください。

A 食事には気を遣っています。日本からカレー(もちろん東大阪なのでハウス食品)をはじめ色々持っていきます。

Q 新型コロナの期間中はどのようなトレーニングをしていましたか？

A 自宅でできることをやっていましたが、練習と言える練習はできていません。

Q 来年の東京2020大会開催に向けて今、率直にどんな思いを持っておられますか？

A チャンスが転がってくる機会が増えたのでそのチャンスを逃さないようにしたいと思います。

～ スポーツみらいアンバサダーとして ～

Q 東大阪市内で好きなスポットがあれば教えてください。

A 夜に石切額田間で近鉄電車から見る眺め

Q 東大阪市内でおススメのお店があれば教えてください。

A ラグビー酒場、焼肉かまちゃん、ぶるたあにゆ

Q 最後に、未来のトップアスリートを目指すこどもたちへ向けて、エールをお願いします。

A 東大阪から多くのトップアスリートが誕生しています。みんなもその1人になれるように練習を頑張ってください！待ってます！

今回は、有名アスリート特集第一弾として、東京2020パラリンピック アーチェリー日本代表の上山友裕選手の特集をお届けしました。みなさん応援よろしくお願ひします！

最後に、ご協力いただいた上山選手、本当にありがとうございました！



第二弾は、パラ水泳界のヒロインと呼ばれる、笑顔が素敵なあの有名アスリートです！お楽しみに～！